

つるせ西だより



～今月の特集～
地域で子育て
どんな応援ができるかな

第160号(3月号)2021. 3. 1

編集: 鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行: 富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 30

切り倒される前の満開の桜

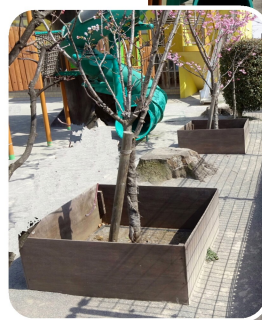


園児と共に成長する雅桜 (ミヤビザクラ)

富士見台幼稚園の園庭には、大きなソメイヨシノが50年にわたり園児を迎え、皆さんの目を楽しませてくれていました。平成29年4月、その桜が倒木の危険ありとのこと、園児を守るためやむなく、満開の花をつけた姿のまま3本とも切り倒されましたが、その切株の脇に新しく「ソメイヨシノ」1本と「プリンセス雅」2本が植えられ、園児を迎えています。あれから4年若木が3mを超える大きさになりました。4月の上旬には開花します。散歩の際見て楽しむのも良いかなと…。桜には、古来から「魔除け」「邪気払い」の力があると考えられ、健康と成長に感謝と願いを込めて大切にされています。「雅桜」は埼玉県で発見された桜で当時皇太子妃、雅子さま(現皇后さま)のご成婚を記念して新種の桜に「プリンセス雅」と名付けられました。現在は「雅桜」と呼ばれています。花色は寒緋桜に似て鮮やかな紅色で一重咲き、やや下向きに花を咲かせ、上品な印象です。花桃の花に似ています。

(撮影・文/吉田編集委員)

直後に植えられた桜の若木



↑ 桜の切株

3月27日は「さくらの日」です。
3×9(さくら)=27 語呂合せ

まちの話題



コロナ禍の中で

コロナ禍のためにすべての行事が控えられている中、鶴瀬西・上沢地区社協「ユリの会」のサロンが12月7日(月) 鶴瀬西交流センター多目的ホールで開かれました。出演は、お馴染みのメンバーでふじみの寅さんとハッピーシユガーの面々。各演奏者の前面には透明のフィルムが張られ、三密回避、マスク・フェイスシールド着用、除菌、検温、記名等、感染対策は万全。プログラムの、第一部から第四部に分けられ、懐かしの昭和歌謡や学校シリーズ・童謡とバラエティに富んだ催しでした。(川上)

まちかどウォッチング

季節の移りを感じさせる光景

庭先での小さな光景が季節の移り変わりを知らせてくれます。

閑さされた寒い冬が過ぎ、わずかに咲き始めた花を求めて「ヤマトシジミ」が飛翔、羽休めを繰り返す様子は、暖かな春がくることを感じさせてくれます。

蝶は、古代ギリシア、ローマ時代の壁画や黄金板にも描かれ、古くから、その美しさで、いつの時代も人々の目を惹きつけ、和ませ続けています。

(堀口)

